



工藤貴正先生 略歴

- 1955年 8月 宮城県仙台市出身
- 学 歴**
- 1983年 3月 大阪外国語大学外国語学部卒業
1985年 3月 大阪外国語大学大学院外国学研究科修士課程修了
1986年 9月 中国北京師範大学中文系文学研究科留学（中国政府奨学生、～1987年7月）
- 学 位**
- 1985年 3月 文学修士（大阪外国語大学）
2007年10月 博士（文学）（名古屋大学）
- 職 歴**
- 1985年 4月 株式会社研文社編集部勤務（～1986年 8月）
1988年 4月 大阪教育大学教育学部専任講師（～1991年 3月）
1991年 4月 大阪教育大学教育学部助教授（～2003年 9月）
1991年 4月 大阪教育大学大学院教育学研究科兼任助教授（～2003年 9月）
1998年10月 上海師範大学人文学院にて文部省在外研究員として研修（～1999年 7月）
2003年10月 愛知県立大学外国語学部教授
2008年 4月 愛知県立大学大学院国際文化研究科前期・後期博士課程兼任教授
2017年 4月 京都大学人文科学研究所にて教育研究機関研究員（平成29年度愛知県立大学学長特別教員研究費）として研修（～2018年 3月）

- 2021年3月 愛知県立大学外国語学部を定年退職
非常勤講師歴
 1987年10月 大阪芸術大学文芸学部（中国語・中国文学史担当、～1989年3月）
 2000年4月 同志社女子大学学芸学部（中国語担当、～現在に至る）
 2008年4月 愛知淑徳大学大学院文学研究科（比較文学担当、～2014年3月）
 2014年4月 金城学院大学文学部（近現代文学特殊講義、比較文化・文学理論担当、～現在に至る）
 2015年4月 名古屋大学大学院国際言語文化研究科前期・後期博士課程（漢民族文化論担当、～2017年3月）

工藤貴正先生 研究業績目録

著書（単著）

- 『魯迅と西洋近代文芸思潮』 汲古書院（総頁数430頁） 2008
 『中国語圏における厨川白村現象—隆盛・衰退・回帰と継続』 思文閣出版（総頁数386頁） 2010
 『厨川白村現象在中国与台湾』 台北・秀威資訊科技出版（総頁数320頁） 2017

著書（共著）

- 『相浦泉先生追悼中国文学論集』 東方書店 1992
 馬良春、孫中田、杉本達夫、山田敬三、工藤貴正他22人
 「魯迅『鑄劍』について—「黒色人」の人物に見る「影」のイメージ」担当
 333-357頁（総頁数536頁）
 『魯迅跨文化対話』 紀念魯迅逝世七十周年國際學術討論會論文集 北京・大象出版社 2006
 呉中傑、楊劍龍、張夢陽、孫郁、工藤貴正他60人
 「民国文壇對於厨川白村著作的反應」担当 384-391頁（総頁数434頁）
 『南調北調論集—中国文化の伝統と現代』 山田敬三先生古希記念論集刊行会編 東方書店 2007
 愛甲弘志、白水紀子、中井政喜、山田敬三、工藤貴正他48人
 「翻訳文体に顕れた厨川白村—魯迅訳・豊子愷訳『苦悶の象徴』を中心に」担当
 1083-1114頁（総頁数1154頁）
 『戦鼓声中の歌者龍瑛宗及其同時代東亜作家論集』 国立清華大学台湾文学所出版 2011
 下村作次郎、陳萬益、王惠珍、彭明偉、工藤貴正他17人
 「戦時台湾作家」篇「龍瑛宗《紅塵》作為描繪歷史的文学—半身不遂的知識人」
 担当 193-215頁（総頁数485頁）

- 『中心と邊陲的重軌と分軌—日本帝国と台湾文学・文化研究』下
台北・台大出版中心 2012
下村作次郎、中島利郎、工藤貴正他10人
「在台湾的厨川白村—持続性普及的背景、主要原因与方式」担当 73-110頁（総
頁数356頁）
- 『近代台湾の経済社会の変遷—日本とのかかわりをめぐって』 東方書店 2013
馬場毅、陳培豊、黃美娥、薛化元、菊池一隆、工藤貴正他19人
「第三部 近代台湾文学・文化の変遷」「台湾新文学運動と厨川白村—西欧普遍
主義の概念を超越する「大正生命主義」を視座に」担当 217-248頁（総頁数
537頁）
- 『現代アジア学入門』 芦書房 2017
鈴木隆、西野真由、上川通夫、樋泉克夫、黃東蘭、工藤貴正他12人
「第1部 日中歴史・文化編」「第4章 冥界旅行に描く漢族社会の特性—階級・
インサイダー・コネ・拝金・愛人」担当 63-80頁（総頁数220頁）

著書（編著）

- 『現代中国への道案内』II 白帝社 2009
工藤貴正・樋泉克夫編、鶴殿倫次、竹越孝、月田尚美、吉池孝一、劉乃華、中
島利郎、王曉葵、倉橋正直、黃東蘭、菊池一隆、西野真由、三宅康之14人
「第II章 中国近代文学概要—「近代」をめぐって」担当 137-165頁（総頁数
397頁）

学術論文

- 「魯迅『狂人日記』の構想分析試論—比較文学の視点からのアプローチ」（単著）
大阪外国語大学大学院研究室『STUDIUM』13号、17-29頁 1984
- 「魯迅の翻訳『小さなヨハネス』について—「夢」と「死」の世界」（単著）
大阪外国語大学大学院修士会『外国語・外国語文学』9号、15-25頁 1985
- 「魯迅とエロシエンコー『エロシエンコ童話集』翻訳の意図と両者の作品に反映され
る精神の類似と差異について」（単著）
大阪外国語大学中国文学研究会『求索』1号、15-34頁 1986
- 「魯迅の翻訳研究(1)—外国文学の受容と思想形成への影響、そして展開 [翻訳準備
時期]」（単著）
『大阪教育大学紀要』第I部門38巻2号、137-148頁 1989
- 「魯迅『長明灯』の構想の一過程—読みの一つの可能性をめぐって」（単著）
中国文芸研究会『野草』46号、80-95頁 1990
- 「魯迅的『長明灯』与愛羅先珂の作品」（単著）陳福康訳
北京魯迅博物館『魯迅研究月刊』総105期、47-49頁 1991
- 「魯迅の翻訳研究(2)—外国文学の受容と思想形成への影響、そして展開 [翻訳準備
時期]」（単著）
『大阪教育大学紀要』第I部門39巻2号、117-125頁 1991

- 「魯迅の翻訳研究(3)―外国文学の受容と思想形成への影響、そして展開 [翻訳準備時期(日本留学期)]」(単著)
『大阪教育大学紀要』第1部門40巻2号、97-111頁 1992
- 「魯迅の翻訳研究(4)―外国文学の受容と思想形成への影響、そして展開 [日本留学期『哀塵』]」(単著)
『大阪教育大学紀要』第1部門41巻2号、71-88頁 1993
- 「魯迅留学初期翻訳の三作品―其の翻訳意図の考察を中心に」(単著)
大阪教育大学『日本アジア言語文化研究』1号、62-93頁 1993
- 「魯迅早期三部譯作的意図」(単著) 趙静訳、陳福康校
北京魯迅博物館『魯迅研究月刊』総152期、38-43頁 1995
- 「魯迅の翻訳研究(5)―外国文学の受容と思想形成への影響、そして展開 [日本留学期(ヴェルヌ作品受容の状況)]」(単著)
『大阪教育大学紀要』第1部門42巻2号、129-140頁 1994
- 「もう一人の自分、「黒影」の成立(上)―魯迅『鑄劍』の形成に至る「復讐」「預言」の具象性と「影」の心象性について」(単著)
大阪教育大学『学大國文』38号、279-299頁 1995
- 「もう一人の自分、「黒影」の成立(中)―魯迅『鑄劍』の形成に至る「死生観」について」(単著)
大阪教育大学『日本アジア言語文化研究』2号、62-87頁 1995
- 「魯迅、ファン・エーデンへの共鳴―魯迅訳、パウル・ラッヘ『『小さなヨハネス』序文』とポール・デ・モント「フレデリック・ファン・エーデン」の記述を中心に」(単著)
『大阪教育大学紀要』第1部門43巻1号、23-31頁 1995
- 「もう一人の自分、「黒影」の成立(下の一)―魯迅『鑄劍』の構成について」(単著)
大阪教育大学『学大國文』39号、87-118頁 1996
- 「もう一人の自分、「黒影」の成立(下の二)―魯迅『鑄劍』に描く「黒い男」の象徴性と「哈哈愛兮」の歌の考察を中心に」(単著)
大阪教育大学『日本アジア言語文化研究』3号、78-114頁 1996
- 「啓蒙期、西欧文学移入に見る日・中における翻訳観の諸相」(単著)
日本現代中国学会『現代中国』70号、147-157頁 1996
- 「従本世紀初西欧文学的譯介看當時的中日文学交流―關於當時魯迅和周作人的文学史意義」(単著) 勵儲訳
北京魯迅博物館『魯迅研究月刊』総179期、54-61頁 1997
- 「周作人『孤兒記』の周縁―ヴィクトル・ユゴーの受容を巡る魯迅との関係より」(単著)
大阪教育大学『学大國文』40号、167-186頁 1997
- 「鬼の世界の告発―周作人『孤兒記』の創作部について」(単著)
中国文芸研究会『野草』59号、99-113頁 1997

- 「原典『孤児記』九章・十章・十一章・十四章—ユゴー著、英訳版『Claude Gueux』」
(単著)
『大阪教育大学紀要』第1部門46巻2号、97-121頁 1998
- 「周作人『孤児記』第十二章・第十三章の位置づけ—創作・模作の接合の為の改編部」
(単著)
大阪教育大学『学大國文』41号、53-70頁 1998
- 「論『鑄劍』“哈哈兮歌”の象徴性—對厨川白村、菊池寛、長谷川如是閑、奥斯卡・王
爾德的思想形象的共鳴共感」(単著)
上海魯迅記念館編百家出版社『上海魯迅研究』10号、186-202頁 1999
- 「厨川白村著作の普及と受容—日本における評価の考察を中心に」(単著)
大阪教育大学『学大國文』44号、85-125頁 2001
- 「民国期におけるビョルンソンとシュニツラーの翻訳作品—『近代の恋愛観』での
紹介状況を副次的資料として」(単著)
大阪教育大学『日本アジア言語文化研究』8号、(1)-(26)頁 2001
- 「任白濤『恋愛論』と夏可尊『近代的恋愛観』について」(単著)
『大阪教育大学紀要』第I部門50巻1号、1-26頁 2001
- 「民国文壇と厨川白村—『近代の恋愛観』の受容を中心に」(単著)
日本現代中国学会『現代中国』75号、43-62頁 2001
- 「ある中学教師の『文学概論』(上)—民国期における西洋の近代文芸概説書の波及と
受容」(単著)
『大阪教育大学紀要』第I部門51巻1号、1-20頁 2002
- 「魯迅文学と西洋近代文芸思潮」(単著)
大阪教育大学『日本アジア言語文化研究』9号、97-122頁 2003
- 「ある中学教師の『文学概論』(下)—本間久雄・厨川白村・小泉八雲の文芸論の受容
と役割」(単著)
『大阪教育大学紀要』第I部門51巻2号、123-143頁 2003
- 「魯迅と唯美・頹廢主義—板垣鷹穂『近代美術史潮論』・本間久雄『欧洲近代文芸思潮
概論』と美術叢刊『芸苑朝華』を中心に」(単著)
大阪教育大学『学大國文』46号、37-66頁 2003
- 「魯迅と自然・写実主義—魯迅訳・片山孤村著「自然主義の理論及び技巧」及び劉大
杰著「『呐喊』『彷徨』と『野草』」を中心に」(単著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第37号、431-451頁 2005
- 「魯迅と表現主義—転換期のプロレタリア文芸論受容を越えて」(単著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第38号、299-321頁 2006
- 「『故事新編』と表現主義—前期魯迅の終焉と創作手法の変化」(単著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第39号、357-379頁 2007

- 「魯迅訳・豊子愷訳『苦悶の象徴』の産出とその周縁」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第40号、323-350頁 2008
- 「台湾における厨川白村—継続的普及の背景・要因・方法」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第41号、297-318頁 2009
- 「厨川白村著作在台湾の伝播」(单著)許丹誠訳
『華文文学』2010年第4期(総第99期)、中国世界華文文学学会、91-98頁 2010
- 「龍瑛宗『紅塵』の描く歴史としての文学—半身不随の知識人」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第43号、293-312頁 2011
- 「近代文芸思潮の観点から見る‘前期魯迅’の始まり」(单著)
『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』第13号、293-312頁 2012
- 「從現代(modern)的文芸思潮看“前期魯迅”的開端」(单著)吉田陽子訳
『上海魯迅研究』2012春号、上海社会科学院出版、212-231頁 2012
- 「李漢俊と表現主義(上)—ロシア未来派との関係及び翻訳意義を巡って」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第45号、313-334頁 2013
- 「近代的〈鬼〉概念の成立—周作人『孤兒記』から魯迅『狂人日記』への系譜」(单著)
『アジア遊学』164号、勉誠出版、173-198頁 2013
- 「李漢俊と表現主義(下)—無産階級文芸の表現手法としての可能性」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第46号、327-349頁 2014
- 「台湾映画『父の初七日』の葬送儀礼と文化アイデンティティ」(单著)
愛知大学現代中国学会『中国21』46号、33-62頁 2014
- 「台湾新文学運動と厨川白村—北京からやって来た「大正生命主義」」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第48号、203-230頁 2016
- 「『新青年』と大正生命主義思想—魯迅「狂人日記」、周作人「人的文学」の成立とその思想的意義」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第49号、159-179頁 2017
- 「『新青年』與大正生命主義思想—魯迅《狂人日記》和周作人《人的文學》的成立以及其思想性意義」(单著)吉田陽子訳
上海社会科学院出版『上海魯迅研究・魯迅手稿研究專輯』159-181頁 2017
- 「『文学革命』から『革命文学』の時代への転換(上)—馮乃超の日本における大正生命主義の受容」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第50号、207-233頁 2018
- 「雷震と京都帝国大学恩師森口繁治教授—日本留学体験之中所形成的初期民主与憲政思想」(单著)吉田陽子訳
台湾大学李有燧校潤、台湾国立政治大学出版社『東亞觀念史集刊』第15期、307-322頁 2018

- 「『文学革命』から『革命文学』の時代への転換(下)―馮乃超のマルクス主義文芸理論の受容」(单著)
『愛知県立大学外大学院国際文化研究科論集』第20号、17-35頁 2019
- 「從『文學革命』的時代轉換為『革命文學』的時代(上)―以馮乃超接受日本的大正生命主義為例」(单著)
上海社会科学院出版『上海魯迅研究』総第82輯、304-321頁 2019
- 「從『文學革命』的時代轉換為『革命文學』的時代(下)―以馮乃超接受馬克思主義文藝理論為例」(单著)
上海社会科学院出版『上海魯迅研究』総第83輯、275-293頁 2019
- 「雷震と京都帝大教授・森口繁治―日本留学体験における初期民主・憲政思想の形成」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(地域・国際編)第52号、119-141頁 2020
- 「張我軍と大正生命主義―時代の転換期の翻訳は何を伝えたか」(单著)
『愛知県立大学外国語学部紀要』(言語・文学編)第53号、191-214頁 2021
- 「雷震回想録『我的学生時代』と大正主義の時代―〈ノスタルジア〉・〈文化伝統〉・〈文化変容〉の視点から」(单著)
『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』第22号、79-106頁 2021
- その他(学会発表・国内)**
- 「趙樹理―その人と40年代の作品」(単)
中国文芸研究会、10月30日於大阪経済大学 1983
- 「中国の比較文学研究に関して」(単)
中国文芸研究会、8月27日於伊豆長岡保養所千歳荘 1984
- 「魯迅の留学初期の翻訳作品と明治翻訳界について」(単)
中国文芸研究会、5月30日於大阪経済大学 1993
- 「啓蒙期、西欧文学移入に見る日・中における翻訳観の諸相」(単)
日本現代中国学会第45回大会、10月21日於大阪大学 1995
- 「周作人における初期人道主義の形成―『孤兒記』を中心に」(単)
中国文芸研究会、9月5日於滋賀県須賀谷温泉 1996
- 「民国文壇と厨川白村―『近代の恋愛観』の受容を中心に」(単)
日本現代中国学会第50回大会、10月21日於京都大学 2000
- 「ある中学教師の『文学概論』―民国期における本間久雄・厨川白村・小泉八雲文学論の受容」(単)
アジア政経学会西日本部会大会、6月23日於立命館アジア太平洋大学 2001
- 「關於民国文壇中的厨川白村現象：翻譯者的意圖和翻譯言語的成立」(単：中国語)
台湾・中央研究院『文本翻譯与文化脈絡：晚明以降的中国、日本与西方』研討会、7月25-27日於愛知大学白樺高原ロッジ 2005

- 「厨川白村現象の終焉と回帰—日本・中国・台湾における評価の違いを視座に」（単）
日本比較文学会第22回中部大会、12月2日於名古屋大学 2006
- 「芥川龍之介の認めた才人李人傑—文芸理論家の一面」（単）
日本比較文学会第28回中部大会、11月28日於名古屋大学 2009
- 「台湾・厨川白村と魯迅の「生命力」・『苦悶の象徴』」（単：中国語）
国際シンポジウム『近代台湾の社会経済変遷—日本との関係をめぐって』、
8月4-5日於愛知大学名古屋校 2012
- 「張我軍・張深切・劉炳鷗にみる大正文学の異相—〈内地〉受容と〈大陸〉受容の思想的時差」（単）
シンポジウム『中国・台湾における大正文学—受容の思想的時差と歴史的連続・非連続性』、日本比較文学会第35回中部大会、11月30日於名古屋大学 2013
- 「『台湾民報』に散見する大正生命主義の意義—台湾における所謂「中国新文学運動」成果の受容を検討の軸に」（単）
天理台湾学会、6月27-28日於天理大学 2015
- 「毛沢東『文芸講話』の構築と機能を巡って」（単）
「毛沢東に関する人文学的研究」共同研究班、12月22日於京都大学人文科学研究所 2017
- 「戦時期に構想された戦後の文学のかたち—毛沢東『文芸講話』における魯迅の役割」（単）
日本比較文学会第46回中部大会、シンポジウム「戦時期における文学—国家と個人の関係から」企画コーディネート、5月11日於愛知淑徳大学星が丘キャンパス 2019
- その他（学会発表・国外・国際学会）**
- 「二十世紀二、三十年代の中国文壇与厨川白村」（単：中国語）
蘇州大学文学学院招聘講演、3月12日於蘇州大学文学学院 1999
- 「明治・大正時期西洋近代文学理論的普及和对中国の影響：以翻譯為中文的文本為中心」（単：中国語）
国際研討会『文本翻譯与文化脈絡：晚明以降的中国、日本与西方』、7月9-11日於台湾・中央研究院中国文哲研究所 2004
- 「龍瑛宗《紅塵》作為描繪歷史的文学—半身不隨的知識份子」（単：中国語）
龍瑛宗国際學術シンポジウム、9月24-25日於台湾・国立清華大学 2010
- 「從現代（modern）的文藝思潮看“前期魯迅”的開端」（単：中国語）
魯迅生誕130周年国際學術シンポジウム、9月24-26日於中国・紹興咸亨酒店ホテル 2011
- 「兩個民国文壇与厨川白村」（単：中国語）
国際學術研討会「東亞近代知識与制度的形成」、11月4-6日於中国・南京大学 2011

- 「魯迅・周作人与日中文化史」(単：中国語)
国際学術講演、主題研究『近代中日関係の多重面向 (1850-1949)』、9月10日
於台湾・中央研究院近代史研究所 2013
- 「北京から台湾にやって来た大正教養主義—『台湾民報』における張我軍の時差翻訳
を視座として」(単)
国際シンポジウム『東アジアと同時代日本語文学フォーラム』輔仁大学日本語
文学科「文化翻訳／翻訳文化」台湾大会、11月14-15日於台北・輔仁大学 2015
- 「《新青年》与大正生命主義思想—魯迅《狂人日記》和周作人《人的文学》の成立以及
其思想性意義」(単：中国語)
中国・復旦大学中文系招聘講演、8月30日於復旦大学 2016
- 「從“文學革命”的時代轉換為“革命文學”的時代—以馮乃超接受日本的大正生命主
義與馬克思主義文藝理論為例」(単：中国語)
第12回東亜学者現代中文国際学術シンポジウム、10月28-29日於名古屋大学
2017
- 「共産主義青年・馮乃超：圍繞在日本所體驗的‘大正主義’以及其後的思想展現」(単：
中国語)
国際学術シンポジウム「近代東亜知識人的国家構想」、12月2-3日於台湾・中
央研究院近代史研究所 2017
- 「雷震在日本留學體驗之中所形成的初期民主・憲政思想」(単：中国語)
国際学術シンポジウム「西方經驗與近代中日交流的思想連鎖」、12月5-6日於
台湾・中央研究院近代史研究所 2018
- 「殷海光的共産主義理解與毛澤東《延安文藝講話》」(単：中国語)
国際学術シンポジウム「殷海光誕生百年紀念研討会」、9月27-28日於台湾・
台湾大学文学院 2019
- 「雷震回想録『我的学生時代』と大正主義の時代—〈ノスタルジア〉・〈文化伝統〉・〈濡
化〉の視点から」(単)
雷震国際講演会・国際シンポジウム「東アジアの民主主義を台湾から考える」、
11月9-10日於愛知県立大学 2019
- その他 (書評)**
- 董大中著・釜屋修訳「趙樹理の佚詩『歌びと』」
中国文芸研究会『野草』38号、100頁 1987
- 藤重典子「魯迅と龔自珍」
中国文芸研究会『野草』44号、74-77頁 1989
- 「黎活仁「《野草》的精神分析」を読んで感じたこと二、三」
中国文芸研究会『野草』48号、155-158頁 1991
- ジャック・ジェルネ著・鎌田博夫訳『中国とキリスト教—最初の対決』
『日中友好新聞』「中国語・中国文学 わたしのすすめる本」48 1996

- 藤井省三著『魯迅事典』—斬新で画期的な魯迅入門・研究ガイド
『東方』260号、東方書店、31-35頁 2002
- 坂井洋史著『懺悔と越境—中国現代文学史研究』
『現代中国』80号、231-233頁 2006
- 代田智明「魯迅における“復讐”と“終末”—魯迅研究に対する雑感」
中国文芸研究会『野草』80号、108-110頁 2007
- 丸山昇「魯迅の眼を通して20世紀の「革命文学」と「社会主義」を回顧する—「じ
そん」を懸けた研究」
中国文芸研究会『野草』81号、137-140頁 2008
- 山田敏三著『魯迅 自覚なき実存』—「本質」としての実存主義的思考と生きざま
『東方』334号、29-32頁 2009
- 永田圭介著『敵復 富国強兵に挑んだ清末思想家』
『週刊読書人』第2907号 2011
- 長堀祐造著『魯迅とトロツキー—中国における『文学と革命』』
『現代中国』86号、191-195頁 2012
- 大東和重著『郁達夫と大正文学—〈自己表現〉から〈自己実現〉の時代へ』
『比較文学』55号、228-232頁 2013
- 松村志乃著『王安憶 ある上海女性作家の精神史』
『週刊読書人』第3146号 2016
- 中井政喜著『魯迅 後期試探』
『図書新聞』第3293号 2017
- 菊池一隆著『台湾北部タイヤル族から見た近現代史—日本植民地時代から国民党政権
時代の「白色テロ」へ』
『現代中国研究』40号、92-98頁 2018
- その他（論説・紹介・事典項目・翻訳）**
- 「翻訳『小さきヨハン』の『鑄劍』への投影鮮明」
『中国文芸研究会会報』45号、3-6頁 1984
- 「魯迅〈故居〉プロムナード」
『中国文芸研究会会報』71号、13-16頁 1987
- 「魯迅の作品評価の方法をめぐる—李長之『魯迅批判』と竹内好『魯迅』を手がかりに」
大阪教育大学日本・アジア言語文化コース『彙報』3号、6-10頁 1990
- 「魯迅『鑄劍』の一考察—材源及び底本の再考と『述異記』『小さなヨハネス』の「黒い男」について」
大阪教育大学日本・アジア言語文化コース『彙報』4号、6-11頁 1991

- 「魯迅『鑄劍』」「戴厚英」
中国文芸研究会編『図説中国20世紀文学—解説と資料』 白帝社 1995
担当：72-73頁、161頁（総頁数202頁）
- 「中国学最前線③—近現代文学」
大修館書店『月刊しにか』「巫州書架」120-121頁 1997
- 「“東方産生最美的抒情詩” —中日学者《故郷》談」
北京魯迅博物館『魯迅研究月刊』総201期、38-41頁 1999
- Comparative Studies on Japanese and Chinese Languages and Cultures: Present Condition and
the Following Subject, OKU International Education Program, Osaka Kyoiku
University International Student Center, 66-70頁 2002
- 「学術研究に徹し、歴史に埋没した作家—劉大杰」『火鍋子』64号、128-131頁 2005
- [翻訳] 劉大杰『昨日之花』（壹） 『火鍋子』65号、140-143頁 2005
- [翻訳] 劉大杰『昨日之花』（貳） 『火鍋子』66号、124-129頁 2005

その他（外部資金の獲得状況）

- 2003-2007年度 科学研究費補助金（基盤研究（C）） 研究代表者
研究課題：民国翻訳史における西洋近代文芸論受容に果たした日本知識人の著作に関する基礎的研究
- 2005年1月～2007年12月 台湾中央研究院中国文哲研究所蔣経国基金 共同研究員
研究課題：文本翻譯與文化脈絡—晚明以後の中國、日本與西方（Textual Translation and Cultural Context: China, Japan, and the West since the Late Ming）
- 2007-2009年度 科学研究費補助金（基盤研究（C）） 研究代表者
研究課題：中国語文化圏における厨川白村著作の受容の再燃現象についての研究
- 2009年度 研究成果公開促進費 研究代表者
書名：中国語圏における厨川白村現象
- 2014-2017年度 科学研究費補助金（基盤研究（C）） 研究代表者
研究課題：台湾変革期における中国から受容された2度の大正文学の影響に関する研究
- 2018-2020年度 科学研究費補助金（基盤研究（C）） 研究代表者
研究課題：台湾民主の銅像・雷震の思想歷程研究—日本留学期・中国の役人期・『自由中国』期
- 2020-2023年度 科学研究費補助金（基盤研究（C）） 研究分担者
研究課題：雑誌『語絲』に見える周氏兄弟の岐路

主な所属学会及び社会的活動等

- 日本比較文学会 東海支部幹事、学会報編集委員（2012年4月～2015年3月）
日本現代中国学会 東海部会理事

日本中国学会会員
中国現代史研究会会員
中国研究所『中国研究月報』編集委員